

ProWine São Paulo 2026 – ファイナルレポート

2026 年 10 月 16 日 | ブラジル・サンパウロ

ProWine São Paulo 2026：来場者数の最多記録を更新、南北アメリカ大陸における ワインビジネスのハブとしてのプレゼンスを強化

その圧巻の規模もさることながら、会場内で繰り広げられた商談こそが、ProWine São Paulo の成長を最も如実に物語っています。アメリカ大陸最大規模のワイン＆スピリッツ専門見本市

「ProWine São Paulo」は、サンパウロの Expo Center Norte にて 10 月 8 日（木）までの 3 日間にわたり開催され、過去最高となる 2 万 5,000 名以上の来場者と 43 か国 2,000 ブランド以上の生産者を迎え、第 7 回目を盛況のうちに閉幕しました。

小規模なファミリーワイナリーから大手輸入グループまで、ワイン・スピリッツのサプライチェーンを担う主要なプレイヤーが一堂に会し、新規契約の締結、購買決定、流通戦略の策定など、活発な商談が展開されました。

ProWine São Paulo は、単なる新商品の発見や情報交換の場から、ブラジル市場に参入・展開する企業の経営計画を左右するイベントへと進化を遂げました。海外からサプライヤーが集中する会期を活用し、インポーターはポートフォリオの交渉を行い、ディストリビューターは新たな販路開拓が見込める製品を模索しました。小売業者やホスピタリティ業界のバイヤーは、今後数か月間に一般消費者へ提案するラインナップを見極めました。本見本市は、年末の購買決定や翌年のビジネスに向け、極めて重要な時期に開催されています。

ProWine São Paulo のディレクターを務めるマル・セヴィエリ（Ms. Malu Sevieri）は、今期の成果を次のように評価しました。「以前の私たちは業界カレンダーのひとつのイベントにすぎませんでしたが、今日では、ブラジルで販売されるワインの『ビジネスカレンダー』において欠かせない中心的な存在になったと確信しています」。

また、本見本市のもう一人のディレクターであるクリスチャン・ブルゴス（Mr. Christian Burgos）によると、生産者とバイヤーは年々より入念な準備を重ねるようになり、より戦略的に

商談に臨むようになっていいます。最初のコンタクトも重要ですが、現在ブースで交わされる議論の多くは、ビジネスパートナーの獲得、競争力のある価格設定、そして最適な流通チャネルの確保に向けられています。

「進化の本質は、まさにこれら商談の質にあります。会期中に行われた交渉は、今後数か月間のブラジル中の小売棚、レストランのワインリスト、ディストリビューターのカatalogにどの製品が並ぶのかを決定づけます。したがって、単に新製品を発表するだけでなく、どの製品が実際に市場でポジションを獲得できるかが決まる場にもなっているのです」（ブルゴス）。

43 か国からの生産者の参加は、ブラジル市場に対する世界的な関心の高まりを示しています。特に、輸出先の多角化を図る国際的なワイナリーや貿易促進機関にとって、ブラジルは重要拠点となっています。ProWine São Paulo では、パビリオンやインポーターとの商談、新規バイヤー誘致に向けた取り組みなど、多角的なアクションが展開されました。

特に際立った存在感を示したのがスペインで、バレンシア州、むるしあしゅう、ルエダ、カステーリャ・イ・レオンの生産者を募った4つの取組を実施しました。D.O.ルエダは、2025年の対ブラジル輸出量が約198%と急成長したことを背景に、31のワイナリーと74銘柄を出展させ、ブラジル国内で過去最高規模の出展を展開しました。また、カステーリャ・イ・レオン州はRibera del Duero、Toro、Bierzo、Cigalesなどの生産者を取りまとめ、ワイナリーの国際展開戦略をより確固たるものとししました。

ドイツも出展規模を拡大し、今年初めて2つの出展エリアを設置しました。VDPは6つのワイン生産地域から12のワイナリーを集結させ、ドイツパビリオンではWines of Germanyブランドのもと、さらに8つのワイナリーが出展しました。計20社の生産者が、伝統的なリースリングにとどまらず、ピノ・ノワール、シャルドネ、シルヴァナー、スパークリングワインなど、様々なドイツワインの魅力をアピールしました。

この動きはポルトガル、フランス、イタリア、さらには南米諸国にも広がり、ブラジルのバイヤーとの関係強化の場として活用されました。同時に、アルメニア、ジョージア、コソボ、モルドバといった、ブラジルの小売市場では比較的珍しい原産国の参加もみられ、ポートフォリオの多角化が新たな商業機会を生み出す可能性を示しました。

さらにスピリッツもそのプレゼンスを高め、国際的なカテゴリーや原産地を紹介する専用エリアが設けられました。テキーラ、メスカル、ジャパニーズ・スピリッツなどの出展により、バイヤーの選択肢が広がるとともに、ワインの枠を超えた見本市としての包括的な価値が証明されました。

市場の変革とともに進化する見本市

ProWine São Paulo の進化は、参加企業の業種プロファイルにも表れています。出展者は生産者やインポーターにとどまらず、テクノロジー、トレーサビリティ、商業管理、デジタル・プレゼンスを専門とする企業にまで拡大しました。競争力が製品の流通・促進・販売能力にますます依存するようになっている現代のワイン&スピリッツ業界において、これらのテクノロジーソリューションは不可欠な存在となっています。

小売および店頭オペレーション向けのソリューションに対する関心の高さは、価格設定、ポジショニング、ロジスティクス、カスタマーエクスペリエンスへの配慮が求められる市場において「効率性と競争力を向上させる」という具体的なニーズを反映しています。出展企業のうち、DOit 社は小売および流通向け基幹系システム（ERP）を展示。NSERIAL 社は偽造品対策のための製品識別・認証技術を実演しました。また、P.move Smart Places 社はオンライン検索と実店舗での販売を結びつけるデジタル・ポジショニング・ソリューションを提案し、Moki 社は小売・物流・産業現場での監査を効率化し、エラーを削減してプロセスを最適化する業務管理プラットフォームを披露しました。

次回の「ProWine São Paulo 2027」は、2027 年 10 月 5 日～7 日の日程で、再びサンパウロの Expo Center Norte にて開催される予定です。来場者登録は 2027 年 3 月に開始されます。

公式写真ダウンロード:[Google Drive リンクはこちら](#)



6th - 8th **2026**
OCTOBER
EXPO CENTER NORTE I SÃO PAULO
www.prowinesaopaulo.com

ProWine São Paulo について

ProWine São Paulo は、ドイツ・デュッセルドルフで開催される世界最大のワイン・スピリッツ見本市「ProWein」から派生したイベントです。2019年の初開催以来、ビジネス開発、新製品発表、ネットワーク構築、情報共有の場として、業界の主要プレイヤーが集う3日間のユニークな体験を提供しています。本イベントは、Emme Brasil、Inner Group、Messe Düsseldorfの共催により運営されています。次回は2027年10月5日～7日にブラジル・サンパウロのExpo Center Norteにて開催されます。詳細情報および業界関係者向けの無料事前登録は公式サイト(prowinesaopaulo.com)をご覧ください。

